

第 1 回 街なかサポーター会議開催結果

1. 開催概要

1) 日時・参加者等

開催日時	2017年3月25日(土) 14時00分～16時30分	
開催場所	松山アーバンデザインセンター1階	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・レクチャー「銀天街界隈の歴史～地区の変遷～」 講師：松本 啓治 氏 / 愛媛大学教授 ・レクチャー「地域デザインの取り組み」 講師：松村 暢彦 氏 / 愛媛大学教授 ・まち歩き ・意見交換 	
参加者	一般参加者	22名
	関係者	4名 松本 啓治 シニアディレクター 松村 暢彦 プロジェクトアドバイザー 小野 悠 ディレクター 片岡 由香 ディレクター
	事務局	7名 坪内 洋 都市デザイン課 遠藤 敬二郎 都市デザイン課 河上 康志 都市デザイン課 米田 雅史 地域経済課 玉井 宏幸 地域経済課 古賀 康裕 (株)アール・アイ・エー 小田 真太郎 (株)アール・アイ・エー
	計	33名

2) タイムテーブル

タイムテーブル	プログラム	担当
14:00～14:05 (5分)	・開会あいさつ（松山市都市デザイン課） ・講師紹介、本日の進め方説明	小野助教
14:05～14:20 (15分)	・レクチャー1：銀天街界隈の歴史	松本教授
14:20～14:35 (15分)	・レクチャー2：地域デザインの取り組み	松村教授
14:35～15:05 (30分)	・まち歩き（湊町3丁目）	松本教授
15:05～15:10	・休憩（5分程度）	
15:10～16:00 (50分)	<p>・意見交換</p> <p>全体説明・自己紹介（5分）</p> <p>まちの「良い点」「悪い点」について（20分）</p> <p>「来たい」「住みたい」まちについて（25分）</p> <p>参加者を4班に分けて、テーマ毎のグループワークを行う。 各班のファシリテーターはUDCMの先生方が担当し、市職員が意見の書き込みなどを補助する。</p> <p>1班：松村教授（地経:玉井主事）</p> <p>2班：都デ:遠藤（松本教授）</p> <p>3班：小野助教（地経:米田主任）</p> <p>4班：片岡助教（都デ:河上主査）</p>	各班
16:00～16:20 (20分)	・意見発表（4班）	各班
16:20～16:25 (5分)	・総評	松村教授
16:25～16:30 (5分)	・今後の予定（次回開催告知）	小野助教

2. 開催結果

1) 全体説明・公演

レクチャー 1 + まちあるき	
○講師	
松本 啓治 (愛媛大学教授)	
○テーマ	
銀天街界隈の歴史	
○時間	
14:05～14:20、14:35～15:05	

過去から現代に至るまでの銀天街界隈の歴史変遷について松本教授からご説明をいただきました。銀天街界隈には、わたしたちの知らない歴史の面影が随所に残っていることが、レクチャーを通じて学ぶことができました。商店街の普段使いでは気づかない、街の歴史について、新たな発見がありました。また、地域の歴史や直面している課題（老朽化、低未利用地など）について、松本教授のレクチャーで取り上げていただいたスポットを、街歩きを通じて現地で確認しました。

レクチャー 2	
○講師	
松村 暢彦 (愛媛大学教授)	
○テーマ	
地域デザインの取組み	
○時間	
14:20～14:35	

中心市街地を取り巻く状況や、これからのまちづくりに必要な視点としての「地域デザイン」のために必要な仕組み等について松村教授からご説明をいただきました。一つのきっかけを機にまちが時間をかけて移り変わっていく様子を描いた本を題材にして、時間の経過とともに街の変化・変遷により何が良くなり、何が変わっていったかを考えるという内容のレクチャーでした。

2) 各班のWSの結果

1 班	
<p>○メンバー</p> <p>谷岡 加寿美 東川 祐樹 真鍋 拓也 樋口 孝幸 日野 二郎 沢田 由美 坪内 洋 玉井 宏幸 松村 暢彦</p>	<p>○まちの良い点についての主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人が集まる広場がある ・いろいろな種類のお店があって歩いていて楽しい ・若い人たち向けのお店がある ・新旧店舗が共存しており、街の新陳代謝が良い ・街なかにマンションが建ちだした ・街なかに石畳の路地空間がある ・歴史を感じる場所が随所にある
 	<p>○まちの悪い点についての主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ箱がないので食べ歩きができない ・屋外で休憩できるような場所がない ・建物の老朽化、耐震耐火不適格 ・松山らしい飲食店がない ・商店街に足りない業種がある ・マンション、駐車場等の街全体での計画的な配置 ・各所の歴史を知らない ・自動車との交錯による安全性確保が不足
	<p>○「来たい」「住みたい」まちについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気づけば街なかで何かのイベント（集まり）がある ・みんなが来れる大きな緑の広場（「みんなのひろば」のような場所） ・カフェのような住人の交流スペース（屋内）がある ・パブリックビューイング等の皆で応援できる場所がある ・雨の日に使える休憩所がある ・松山グルメが楽しめる飲食店（屋台など）がある ・路地空間をもっとたくさんの方が行き来できる ・歴史的な建物の再現、再生を図る ・統一感のある店づくりと路地空間がある ・写真を撮りたくなるスポットがある（観光客誘致） ・スーパー、公園、図書館、カフェ、スーパー、電気屋、ホール等の店舗・施設の導入 ・放置自転車対策を徹底する ・観光バスの停車できる駐車場の整備

2班	
○メンバー	○まちな良い点についての主な意見
日野 順子 光永 早織 毛利 彩希 山崎 隆嗣 二宮 秀生 神田 敏美 (欠席) 遠藤 敬二郎 松本 啓治	<ul style="list-style-type: none"> ・人が多く歩いている ・家族連れ、若者が集まるまちになってきた ・チェーン店が少なく、若い人向けの店舗・飲食店が点在している（まちの更新が行われている） ・夜間人口が増えている、マンションが増えている ・商業地のそばに居住地があり便利なまちになっている ・路地裏がおもしろい、道路幅員がちょうど良い ・南銀天街の昭和レトロな感じが良い ・趣のある店（ことりなど）がある ・一番町、松山市駅等へのアクセスが良い
 	○まちな悪い点についての主な意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客が訪れるスポット、カフェ、広場がない ・街を歩く人が立ち止まって休める場所がない ・若い人向け（おしゃれな）店舗の集積が進まない ・衣食住（専門店）が全て揃わない ・生活買い回り（スーパーなど）がない （⇔八百屋は良いお店がある） ・良くも悪くも、まちのデザインに統一性がない（お店の種類もバラバラ） ・架空線（電線）が見苦しい ・歴史を活かせていない ・建物の老朽化、古い建物がまちの寂しさを出している ・交通手段が弱く、駐車場が少ない
	○「来たい」「住みたい」まちについての主な意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・周りにカフェを併設した緑地や、水と緑（カスケード、ポケットパーク）の整備 ・木陰のある広場・公園整備（時間滞在型の空間、人が集まる、ヨガができる芝生等） ・高齢者と若者の共生 ・家族連れで来れるおしゃれなレストラン ・おいしい紅茶・コーヒーが飲めるカフェ ・市場（魚・酒）（マルシェ等） ・子供向けの店（おもちゃ屋さんなど） ・統一感のある空間、魅力的なお店がある ・最先端とノスタルジア ・表（商店街＝生活便利さ）と裏（路地＝楽しさ・集客）のメリハリがある ・大箱日用品（ファストファッション/スーパー等）がある ・職場、買い物、余暇と住居が近い（利便性高い） ・図書館 ・利便性の高い公共交通 ・無料の駐車場、駐輪場

3班	
○メンバー	○まちの良い点についての主な意見
武井 泰子 近藤 恭子 團迫 佳輝 河内 俊樹 松本 真一 藤堂 幸司 米田 雅史 小野 悠	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人がいる（滞在できる場所がある） ・少しずつ賑わいが生まれているところがある ・大街道～市駅のエリアに多様な店があって便利（今の時代にニーズの高いお店がある） ・松山固有のお店が多い ・年を取っても、この地域内だけで住める気がする ・マンションの新築も多く、街なかの居住者が多い ・レトロな飲食店が面白い ・ゴミが落ちていない ・歴史性のある店（老舗）や通りが残っている ・アーケードがあり雨の日に便利
 	○まちの悪い点についての主な意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・緑が少ない、公園などの休憩できる場所が少ない ・ごみ箱がない ・周辺で居住するにも家賃が高い ・古くから住んでいる人が多く、外から来た人が住めるのかという不安がある ・歴史のあるお店や建物などを知らない ・駐輪場が少ない
	○「来たい」「住みたい」まちについての主な意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・街なか広場、ポケットパーク等のちょっと休憩できるスポットの整備 ・運動場や公共のトレーニングルームがほしい ・観光にこそ、銀天街に呼び込むための仕掛けづくり ・遊びのマンネリ化を解消できる場所（DIY等） ・無駄に歩かせて通るたびに新たな発見がある街（人、店、コト、モノ） ・ここで全てが揃い、生活できる街にする ・ショッピングセンターにはなく商店街にある強みを生かす ・大型ショッピングモールではなく、スーパー、電器屋、ホームセンター、おもちゃ屋等がある ・ミニ図書館＋自習室、保育所、幼稚園、病院、イベント、コンサートホール（市民会館） ・安全に車の乗り降りできる場所 ・まちを1つのビルのようにして、郊外から通行できる道路を集中させる ・自走式大型駐車場（周辺の道路整備含む） ・無料駐車場（スペースの広い）

4班

○メンバー

三好 花保
 新川 洋平
 姫井 大輝
 藤田 美幸
 井上 直人 (欠席)
 小川 憲次
 河上 康志
 片岡 由香

○まちの良い点についての主な意見

- ・間口の小さめの店舗が連なり、歩いていて見やすく、わくわくさせてくれる (正安寺通り)
- ・幅広いジャンルのお店がある
- ・特徴のある新規店がある
- ・お洒落なカフェやおもしろい雑貨店などが出店し始めている (正安寺通り)
- ・ヒューマンスケールの路地が残っている
- ・石畳のテクスチャが歩いていたらおもしろそう!と惹き付けられる
- ・ポケットパーク的な空間がある (南銀天街とマンションの間)
- ・歴史的な場所が多くあった (正岡子規ゆかりの地)

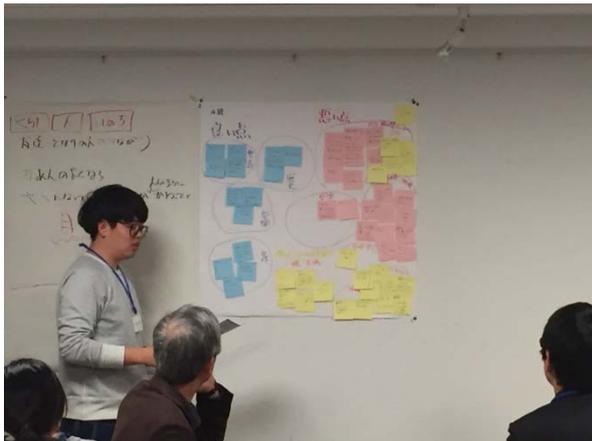
○まちの悪い点についての主な意見

- ・一見さんでは入りにくいお店がある (口コミなどの情報があれば入りやすい)
- ・中の川通りまで人が歩かない (舗装)
- ・たまり場的な場所がない
- ・銀天街に来ないと買わない、体験できない店が必要
- ・閉まっている店が多いと街自体がさみしい (さびれた) イメージに見える
- ・銀天街が暗くて採光不足
- ・店の統一性がない
- ・裏路地に入っていく入口 (銀天街側) がみすぼらしい、もったいない
- ・文学のまちとして P R できそうな場所がほとんど知られていない (正岡子規ゆかりの地の案内板等がない)
- ・観光客が訪れるようなスポット、駐車場が少ない
- ・信号のない車の抜け道になってしまっており (危険を感じる)、車を近く感じる



○「来たい」「住みたい」まちについての主な意見

- ・観光客にとって、もてなされている感じのする空間づくり
- ・観光客が泊まる所、ゲストハウス (来訪者がひと休みできるロビーなど)
- ・市場 (食)、空間 緑地
 (例)ひろめ市場のような場所 (地元の人でも購入したいと思えるような)
- ・空を感じるような、緑を感じる明るい空間 (場所が欲しい)
- ・緑側のようにちょっと座ってひと休みできる場所施設 (庭付き)
- ・住む→家族 = 公園や交流スペース・緑
- ・銀天街から裏路地への入り口の作り方を工夫
- ・コンテンツづくり
 : 通りやエリア別の P R、シチュエーション別の P R
 (例)グルメ (ゆっくり・デート・時短)、グルメ (めん、辛い、カフェ)
- ・街なか活性化のためのアプリや H P を作成
- ・子供用品を扱うお店、教室
- ・歩行者と車両の分離



3) 総括

まちなかサポーター会議は、現在、官民連携で検討を進めている「銀天街L字地区」の都市再生について、「誰もが訪れたい魅力的な多世代交流の場」の実現に向け、多様な方々との意見交換を目的に設置しました。

第1回目は、松本教授、松村教授より地区の歴史やこれまでの変遷、地域デザインの取組みについてのレクチャーをいただきました。その後、実際に地区内を参加者自身で歩くことで、地域の歴史や直面している課題について、自身の目で見て、感じることを通じ、立場の異なる参加者と、まちの「良い点」、「悪い点」について意見交換を行い、地区の持つ魅力やポテンシャル、一方で、何が不足し、何が問題となっているのか、といった課題点を集めました。それらを踏まえ、「来たい」「住みたい」まちにするためには、何が必要で、どういった取組みや機能を導入すべきか、といった内容についての意見交換および発表を行いました。

各班で共通した意見として、以下のようなものがありました。

良い点	広場がある、石畳の路地空間、歴史を感じる場所、街なかにおけるマンション立地 等
悪い点	屋外で休憩できる場所（特に広場）がない、デザインの統一性がない、歴史が活かせていない、駐車場が少ない 等
来たい・住みたい	みんなが集まり交流できる広場・カフェ等の整備、歴史的な建物・通りの保存・再生による地域・観光資源の開発、統一感のあるまちづくり、スーパー・子ども向けのお店・公益施設等の導入、駐車場整備 等

第1回目の総評では、松村先生より、レクチャーの内容とサポーター会議での意見交換を踏まえて、まちづくりには、制度的かつ手法的な空間（お金、物、制度）と価値的かつ自由空間（暮らし、人、いのち）が存在し、それらがうまく連携することで本当の良いまちづくりに繋がる、という内容のお話をいただきました。

今後の街なかサポーター会議では、外部から講師を招き、全国の先進的な取組みについて学んでいきます。そこで得た学びと、今回意見交換により集められた地区の現状に対する新たな「気づき」をもとに、地区に必要な都市機能を考え、さらには地区の都市再生に必要なコンテンツや仕組みを考えていくこととします。

3. 参加者名簿

班	番号	分類	氏名	備考
1	1	使い手	谷岡 加寿美	
	2	"	東川 祐樹	
	3	"	真鍋 拓也	
	4	民間	樋口 孝幸	
	5	地元	日野 二郎	
	6	"	沢田 由美	
	7	行政	坪内 洋	
	8	"	玉井 宏幸 ^{※2}	
	9	UDCM	松村 暢彦 ^{※1}	
2	1	使い手	日野 順子	
	2	"	光永 早織	
	3	"	毛利 彩希	
	4	民間	山崎 隆嗣	
	5	地元	二宮 秀生	
	6	"	神田 敏美	
	7	行政	遠藤 敬二郎 ^{※1}	
	8	UDCM	松本 啓治 ^{※2}	
3	1	使い手	武井 泰子	
	2	"	近藤 恭子	
	3	"	團迫 佳輝	
	4	"	河内 俊樹	
	5	民間	松本 真一	
	6	地元	藤堂 幸司	
	7	行政	米田 雅史 ^{※2}	
	8	UDCM	小野 悠 ^{※1}	
4	1	使い手	三好 花保	
	2	"	新川 洋平	
	3	"	姫井 大輝	
	4	民間	藤田 美幸	
	5	"	井上 直人	
	6	地元	小川 憲次	
	7	行政	河上 康志 ^{※2}	
	8	UDCM	片岡 由香 ^{※1}	

※1：ファシリテーター ※2：ファシリテーターの補助